

残暑もようやく落ち着き、朝晩に秋の気配が感じられ、風が心地よく過ごしやすい季節になってまいりました。「エコみらいひたち」の工事現場での盛土工及び遮水工の進捗状況や施工管理ワーキンググループの開催の様子などをお知らせいたします。引き続き、安全・安心を第一に工事を進めてまいります。



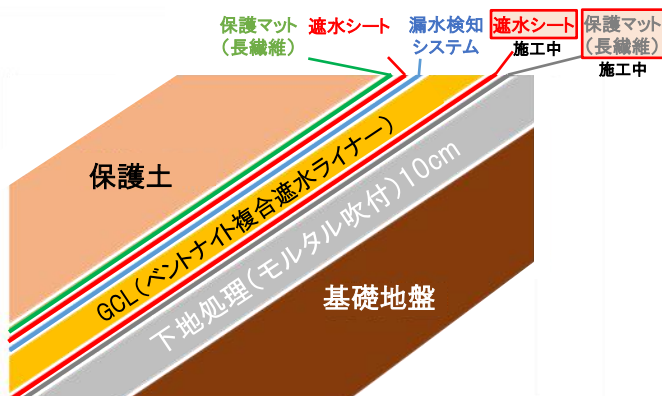
盛土工の進捗状況と遮水工の施工について

令和6年8月から埋立地の基盤となる盛土工の施工を開始し、約2年が経過しました。アーティキュレートダンプ(大型運搬車)や、盛土材料の運搬路となる仮設道路を活用し、これまでに埋立地の底部や北側区画の盛土工が完了しました。現在は、南側区画の盛土工を施工しています。

埋立地の北側区画では、遮水工の下地となる法面のモルタル吹付工が概ね完了し、廃棄物に触れた雨水の地下への浸透を防止する遮水工(下層の「保護マット」や「遮水シート」)の施工に着手しました。



＜埋立地 北側区画の盛土完了の状況＞



＜法面部の遮水構造＞



【お問い合わせについて】

担 当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所
電 話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の
ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認いただけます。



第4回施工管理ワーキンググループの開催

8月8日(土)に多賀市民プラザにて、第4回施工管理ワーキンググループを開催しました。

今回のワーキンググループでは、「敷地造成工事完了の確認」と「浸出水処理施設の性能試験等」について審議の上、各専門家から盛土の沈下計測状況などについて質疑がありました。

提案した内容等については、概ね問題ないとのご意見をいただきましたので、当日いただいた助言を取り入れながら、引き続き、安全な処分場の完成に向けて着実に工事を進めてまいります。



＜施工管理ワーキンググループの様子＞

浸出水処理施設の外壁パネル設置開始

建物の骨組みとなる鉄骨の組み上げが完了し、施設全体の規模や形状が分かるようになりました。

現在は、建物の外壁などに使用するALC(軽量気泡コンクリート)パネルの搬入・設置を進めています。

今後、鉄骨にパネルを順次取り付けていくことで、施設の外観が徐々に形づくられ、完成に近づく様子が分かるようになります。

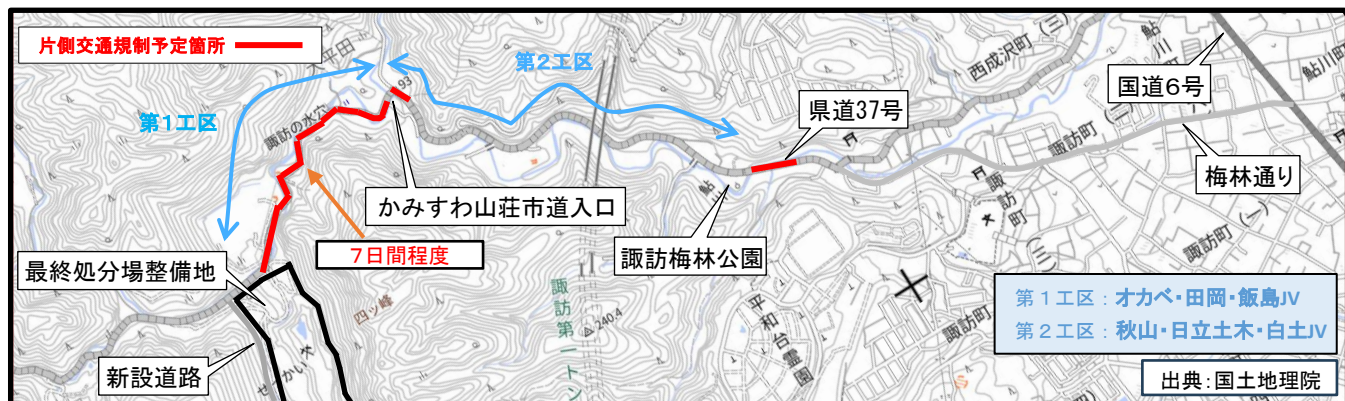


＜浸出水処理施設外観＞



＜ALCパネル搬入＞

上下水道工事に伴う交通規制予定箇所（10月）



処分場建設工事中の環境モニタリング

工事中の環境モニタリングの結果

● 地下水(7月測定)

処分場周辺に設置しているモニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。

環境モニタリングの詳細な結果は事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点